

深い学びの実現に向けた教育課程の創造(初年度) ～子供が問いをつくるための教師の手立てを明らかにする～

平成**30**年**6**月**15**日(金)

研究初年度は、深い学びの実現に向けて、子供が問いをつくるための教師の手立てを中心に研究に取り組んできました。学びがいを感じながらものと関わり、「きっと…だろう」と自分の考えに自信をもった子供たちが、問いをつくり、主体的に課題解決に取り組む授業を公開します。

深い学びの実現に向けた授業改善の在り方について、公開授業を基に、ご参会の皆様と研修を深めたく存じます。ぜひ、ご参加いただきますようご案内いたします。 学校長 片岡 弘



日程

8:50	9:10	9:45	10:00	10:45	11:00	12:00	13:00	13:45	14:00	15:00	15:10	16:45	
受付	開会式 概要発表	移動	公開授業Ⅰ	移動	協議会Ⅰ	昼食	午後の部受付	公開授業Ⅱ	移動	協議会Ⅱ	移動	講演	閉会式

公開授業Ⅰ			公開授業Ⅱ		
1-2	算数	屋鋪 善祐	1-1	生活	有島 智美
2-1	国語	小山倫太郎	2-2	算数	細江孝太郎
3-1	音楽	村井 悠子	4-1	国語	松井 智史
3-2	道徳	眞田 裕人	4-2	音楽	浅川 晴香
4-1	図工	桶本 佳江	5-1	体育	土合 真祐
4-2	理科	鼎 裕憲	6-1	理科	福田慎一郎
5-2	外国語科	奥村千愛実	6-2	家庭	池田 美貴
6-2	社会	岩山 直樹			

演題

「育成すべき資質・能力を明確にした国語科授業づくり」

講師

文部科学省初等中等教育局
教育課程課教科調査官
菊池 英慈 先生

講演 15:10~16:40

演題 「育成すべき資質・能力を明確にした国語科授業づくり」

新学習指導要領に向けて移行措置が進む今、育成すべき資質・能力は何か。新学習指導要領の総論や国語科の具体的事例を基にこれから求められる授業について、ご示唆していただきます。

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 菊池 英慈 先生

公開授業指導助言一覧

※敬称略

国語科	富山大学人間発達科学部	教授	米田 猛 先生
社会科	富山大学人間発達科学部	教授	岡崎 誠司 先生
算数科	黒部市立宇奈月小学校	校長	四杉 昭康 先生
理科	富山大学人間発達科学部	准教授	土井 徹 先生
生活科	富山市立速星小学校	校長	本田 敏也 先生
音楽科	富山市立保内小学校	校長	丸山 明子 先生
図画工作科	射水市立小杉小学校	校長	荒治 和幸 先生
家庭科	富山大学人間発達科学部	教授	磯崎 尚子 先生
体育科	富山大学人間発達科学部	講師	澤 聡美 先生
外国語科	富山大学教職大学院	教授	岡崎 浩幸 先生
道徳科	富山大学人間発達科学部	講師	増田 美奈 先生

富山大学人間発達科学部附属小学校

お問い合わせはこちらから!

〒930-8556 富山県富山市五艘1300
TEL 076-445-2803
FAX 076-445-2802
e-mail info@fes.u-toyama.ac.jp
URL http://www.fes.u-toyama.ac.jp



- FAX、e-mailでの事前申し込みも行いますが、当日受付も可能です。
- 資料代として、2,000円(学生1,000円)を当日受付で申し受けます。
- 自家用車の方は、グラウンドに駐車してください。
- 昼食が必要な方は、当日受付にて食券をお求めください。

開会式・概要発表

9:10~9:45

概要発表

「深い学びの実現に向けた教育課程の創造」(初年度)
~子供が問いをつくるための教師の手立てを明らかにする~

(本校研究部長 松井 智史)

公開授業 I

10:00~10:45

1の2 算数科 「たしざん」

屋鋪 善祐

たし算カードゲームで楽しみながら学習してきた子供たち。ある条件を設定した時、□~回のカードだけではたし算の式が成り立たなくなることに気付きます。「どうすればうまく計算ができるのだろう」と問いをつくり、半具体物と式を関連付け、0を含むたし算の意味について考えを深めていきます。

3の1 音楽科 「リコーダーとなかよし」

村井 悠子

初めてリコーダーと出会った子供たちが、楽しみながら「〇〇な音」づくりに取り組みます。目指す音に近づけたいと試行錯誤する中で「同じ楽器なのに、いろんな音色や響きが出せるのはどうしてだろう」と問いをつくり、リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付いていきます。

4の1 図画工作科 「まい・まもり神」

桶本 佳江

板づくりで粘土を同じ厚さに伸ばしたり切り針で形を切り取ったりと、作品づくりに夢中で取り組む子供たち。かたまりをテグス(つり糸)で切り取ると波形などの思いがけない形が現れることで、「もっと工夫できるのではないか」と粘土の形を見直し、さらにイメージを膨らませて自分らしく表現していきます。

5の2 外国語科 「私の〇〇紹介します-She can run fast.-」

奥村 千愛実

自分のできることを英語で伝えられるようになった子供たち。初めて三人称に出会い、表現の幅を広げていく中で、“can”の後に動詞を付けるだけではその行動の程度が分からないと感じ始めます。「得意だということがもっと伝わるようにするためにはどうしたらよいのだろう」と問いをつくり、相手によりよく伝わるコミュニケーションを目指して考えを深めていきます。

2の1 国語科 「かんさつ名人になろう」

小山 倫太郎

観察名人になるために、飼っている生き物や、育てている植物を、観察して記録する子供たち。観察したことをたくさん書くだけでは、生き物や植物の様子が分かりにくいと感じます。「何を詳しく書けばよいのだろう」と問いをつくらせた子供たちは、詳しく観察するための観点を見付け、記録文の書き方について考えを深めていきます。

3の2 道徳科 「競い合ったライバルだから」[B-9]礼儀

眞田 裕人

盛り上がりを見せた2018年平昌オリンピック。金メダルを獲得した小平奈緒選手のレース後の行動に出合った子供たちは、「とっても嬉しいはずなのに、なぜ、静かにしてほしいと言うのだろう」と問いをつくり、礼儀についての考えを他者との関わりから深めていきます。

4の2 理科 「空気と水」

鼎 裕憲

目に見えない空気ですが、様々な容器に閉じ込めることでその特性を感じることができます。空気の収縮・膨張を利用したものづくりを通して空気と十分に関わった子供たちは、「縮んだ空気は、本当に元の大きさまで戻るのだろうか」と問いをつくり、空気を科学的に捉えていきます。

6の2 社会科 「天下統一を目指す~豊臣秀吉~」

岩山 直樹

百姓の武装が日常的であった戦国時代。子供たちは秀吉の立場から、百姓の武器を根こそぎとって反抗できないようにすることが一揆を防ぐことにつながると考えます。しかし、武器を持つ百姓がいた事実に出会うと、「一揆を防がないといけないのに、なぜ、百姓に武器をもたせているのだろう」と問いをつくり、事象を多面的・多角的に捉えていきます。

公開授業 II

13:00~13:45

1の1 生活科 「われら! あんぜんヒーロー」

有島 智美

入学以来、学校生活にも慣れ、学校探検の学習を続けてきた子供たち。休み時間の過ごし方から、自分たちがけがをしやすい場所、危ない場所にだんだんと気付いてきています。「安全に楽しく学校生活を送るには、どんなことに気を付けたらよいのだろうか」みんなで考え、全校に伝えたい気持ちを高めていきます。

2の2 算数科 「三角形と四角形」

細江 孝太郎

直角がある様々な三角形や四角形を敷き詰め、きれいな模様をつくってきた子供たち。様々な四角形を敷き詰めるうちに直角がない四角形でも敷き詰めることができることに気付きます。「直角がなくてもきれいにしきつまるの?」と問いをつくらせた子供たちは辺や頂点の接し方に目を向けていきます。

4の1 国語科 「事実と意見の関係を捉えて読もう」 『動いて、考えて、また動く』

松井 智史

筆者の主張とその根拠とのつながりを明確にした子供たち。「動く前に考えているのだから『考え、動いて、また考える』の方が合っているのではないかな。なぜ『まずは考える』のだろう」と考えと教材文とのズレから問いをつくり、筆者の考えに迫ります。

4の2 音楽科 「美しい音の重なりをひびかせよう」

浅川 晴香

美しい響きで二部合唱をするためには、正確な音程で歌い、互いの音を聴き合うことが大切です。しかし、子供たちにとって同じ動きの旋律で3度の音の重なりを歌うのは困難です。子供たちは、「正しく歌っているつもりなのに、きれいに重ならない」、「きれいに歌声を重ねるにはどうすればよいだろう」と問いをつくり、歌い方を見直していきます。

5の1 体育科 「心も体もリズムにのせて!」 -表現・リズムダンス-

土合 真祐

“自分たちのダンス”をつくり始めた子供たち。「振り付けは間違えてはいないのに、何か目指している踊りと違う…」仲間と共に身体をかけた試行錯誤をしながら、「振り付けを間違えずに踊ることは、本当に心も体もリズムにのせて踊ることなのか」と問いをつくり、踊ることの楽しさや喜びを味わっていきます。

6の1 理科 「植物の養分と水の通り道」

福田 慎一郎

日光をあてる量を段階的に設定し、ジャガイモを育ててきた子供たち。日向と日陰で育てたジャガイモの生育の違いの既習を基に、日覆いをしたジャガイモにも生育の違いがあるのだろうかと考えます。日向と日覆いのジャガイモを比較すると、葉や茎の様子に、一見、違いが見られないことから、「ジャガイモの生育には、日光は関係していないのでは?」と問いをつくり、日光と植物の養分についての考えを深めていきます。

6の2 家庭科 「わが家の朝食をプロデュース」

池田 美貴

忙しい朝には「いためる」技を使い、短時間で栄養バランスのとれたおかずを作るとよいことを学んだ子供たち。同じ材料でも、切り方や炒める順序が人によって異なることに気付きます。「固い野菜から入れると火がよく通るはずなのに、〇〇さんはどうして違うの?」友達の考えとの違いから問いをつくり、家族に作る野菜炒めの工夫について、材料を無駄なく使うという視点も含めて考えを深めていきます。